

【音楽】

教科書の枠にとらわれない授業プラン

～ClassPad.net の各種ふせん・授業支援機能を活用する～

箏の演奏活動を通して日本の伝統音楽の良さを味わう授業
箏の基礎的な知識・奏法を身につけ、日本の伝統音楽の良さを感じながら演奏する。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：日本の伝統音楽のうちの一つである箏の基本的な知識と奏法を理解させるとともに、音色や表現の良さに気づかせる。

生徒向けの目標：箏の基本奏法・知識を身につけ、日本の伝統音楽の特徴や良さを感じ取りながら、簡単な楽曲を演奏できるようにする。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・生徒の集中力アップ： リンクふせんから動画鑑賞をすることで、視覚的イメージにより楽しく授業に興味を持ってもらうことによって集中力を維持させる。
- ・授業準備の時短／効率化： 事前にリンクふせんを用意することで、授業内で扱う楽曲をすぐに生徒に聴かせることができる。
- ・個別最適学習の促進： 補足として提示する演奏動画についても、リンクふせんで共有することで生徒が自宅で鑑賞することができる。

step1

《今日のテーマ》

- ♪ 箏とは？
- ♪ 箏の歴史
- ♪ 箏の仕組み
- ♪ 箏の奏法

授業の流れ

目的・概要の説明

本日の授業について説明。
箏をテーマに楽器の特徴、奏法について学ぶことを伝える。

ClassPad.net での操作

テキストふせんを使用し、目的・概要を解説。

step2

《さくらさくら》



楽曲鑑賞

箏による演奏を鑑賞させる。
箏の音色に対する感覚的な理解を促し、生徒の興味・関心を高める。

リンクふせんを使用し YouTube で箏の演奏を鑑賞する。

自宅でも見返せるよう、リンクふせんで全員に配布する。

step3

《箏の伝来》
箏は奈良時代に唐から伝来した。
伝来当初は主に、雅楽で用いられていたが、次第に箏だけを伴奏楽器とする歌曲が生まれる。

伝来・歴史について

箏の起源について説明する。

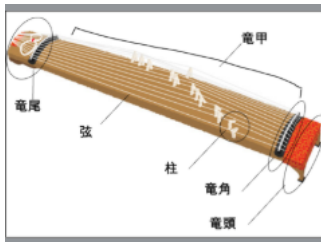
箏はもともと中国から伝わり、日本では雅楽の中で用いられていた楽器であることを説明する。

テキストふせんを使用し、箏の伝来・歴史について解説をする。

その後、時代が進むにつれて、箏が単独で演奏される音楽や、歌の伴奏として用いられるようになったことを説明する。

箏曲の音楽家である八橋検校についても触れる。

step4



構造・名称について

箏の図を用いて、箏の構造について説明する。

箏の基本的な構造と音の出る仕組みを理解し、実技活動への準備を整える。

ファイルふせんを使用し、箏の構造・名称について説明する。
手元でも詳細に見ることができるよう、全員に配布する。

step5

《調弦について》
弦の数は13本。
演奏の前に柱の位置を調整して、曲に合わせて調弦をする。

調弦

箏の調弦について説明する。

授業の後半で題材として扱う「さくらさくら」でも用いられる、代表的な音階「平調子」を例に挙げ、解説する。

テキストふせんを使用し、箏の調弦について説明する。

step6

生田流	山田流
爪→角爪	爪→丸爪
構え方→斜め左向き	構え方→正面
楽譜→縦書き	楽譜→横書き

奏法について

生田流・山田流の違いについて説明しながら、奏法について説明する。
授業では生田流を扱うことを伝える。

テキストふせんを使用し、箏の奏法・流派の違いについて説明する。

step7

《実践》
五人一組のグループに分かれて、実際に楽器に触れてみましょう。

基本奏法の習得

5人1組のグループに分かれて、実際に楽器に触れてみる。
正しい姿勢や楽器との向き合い方を指導する。
演奏する際の姿勢、手の位置など具体的に示す。

生徒が弾いた音色を録音機能を用いて録音させ、教師に提出させる。提出された録音をアーカイブし、評価素材の一つとして活用する。

爪の付け方を確認し、音出しの練習を行う。
はじめは単音で音を出す練習を行い、弦番号や音を出すことに慣れる。

step8

『今日学んだこと・演奏してみた感想等を以下にまとめましょう』

まとめ・次回予告

ワークシートにて、今日学んだことや感想を記入する。

次回の授業では、実際に楽譜を配布、「さくらさくら」の演奏に取り組むことを伝える。

テキストふせんをワークシートとして配布。
配布されたふせんに手書きで記入後、教師に提出。

step9

《さくら 箏独奏による主題と六つの変奏》



参考・補足

模範となる演奏として、高度な演奏動画を補足として紹介。

補足として、リンクふせんを使用し YouTube で箏の演奏動画を配布。

自宅でも見返せるよう、リンクふせんを全員に配布する。